

6. おでかけ!しっぽの森 in 国営讃岐まんのう公園

コキアが赤く色づき始めた国営讃岐まんのう公園にお出かけしました。

当日は、譲渡前講習・譲渡会やたんぽぽドッグスクールの中谷先生による犬のしつけ方教室を開催し、多くの方にご参加いただきました!



参加者の方からは、「しつけ時に与えるおやつがこんなに小さくて良いんだ。」という驚きの声や「しっぽの森に関心はあったが遠いので行けなかった…、近くでイベントがあってうれしい♪」といった、ありがたいお声もいただきました。今後も、さぬき動物愛護センターがお出かけしてイベントを開催する予定です。お近くにしっぽの森が来た時は、是非遊びに来てください!

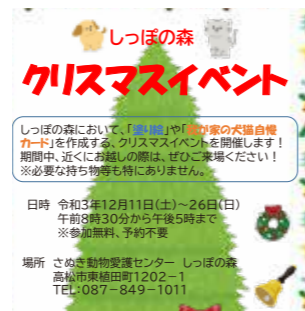


しっぽの森Instagramのご紹介



しっぽの森では、Instagramで譲渡動物やイベントなどの情報を発信しています。しっぽの森でトレーニングを頑張る犬や、ふれあいルームでくつろぐ猫、イベント開催の様子など、様々な写真と共に、しっぽの森の様子をお伝えしています。

@sanuki_shipponomori



是非一度、Instagram「しっぽの森さぬき動物愛護センター」をご覧ください。



さぬき動物愛護センター
キャラクター:アイゴン

1. 猫の飼い主交流会、猫の飼い方教室を開催
2. そろそろ2匹目の猫を迎えようと考えている方へ
3. 新しい家族を待つちょっと成長した猫たち
4. 譲渡ボランティア活動報告
5. 新しい家族を迎えて
～しっぽの森から譲渡した犬や猫たち～
6. おでかけ!しっぽの森 in 国営讃岐まんのう公園

1. 猫の飼い主交流会、猫の飼い方教室を開催!

●猫の飼い主交流会(令和3年10月30日)

センターから猫を譲り受けた方々を対象に飼い主交流会を開催しました。愛猫の紹介カードを作成していると、自然と飼い主さん同士で話が盛り上がり、いつの間にか愛猫の自慢大会が始まっているグループもありました!ご協力いただいた動物愛護推進員さん、ありがとうございました。



●猫の飼い方教室(令和3年12月4日)

これから猫を飼おうとされている方、飼い始めて間もない方を対象に猫の飼い方教室を開催しました。職員から基本的な飼い方や飼い主の責任等についての講習を受けた後、参加者からの「複数匹飼う時のポイントは?」という質問に、「猫トイレを猫数+1つ準備すると、取り合いにならないのでいいですよ!」といったしっぽの森ボランティアサポーターさんのアドバイスに始まり、参加者の質問・疑問にサポーターの方々に次々と答えていただきました。ご協力いただいたしっぽの森ボランティアサポーターさん、ありがとうございました。



2. そろそろ2匹目の猫を迎えようと考えている方へ

しっぽの森には、『2匹目の猫を迎え入れたい!』という相談が寄せられます。そこで今回は2匹目の猫を迎え入れるにあたり「考えて欲しいこと」をお伝えします。

☑ 今以上の備えが必要です。

1匹の猫を飼う時よりも、快適な環境を与え、災害時等の十分な備え、世話をするための適切な時間を確保する必要があります。

☑ 先住猫は、不妊去勢手術をしていますか?

「この猫たちの子どもが見たい!」ではなく「この猫たちと同じ思いをする子をなくすため!」手術は必ず行った上で2匹目を迎え入れるか、もしくは手術済の猫を迎え入れることを考えて下さい。

☑ 先住猫の性格は?臆病ではないですか?

1人が好きな猫もいます。猫が苦手な猫もいます。「必ず先住猫の性格を優先して下さい。」

☑ 先住猫は、猫白血病ウイルスや猫免疫不全ウイルスなどの検査をしていますか?

仲が良過ぎてうつってしまう感染症もあります。特に猫の場合、お互いに感染していないことを確認した上で一緒に遊ばせて下さい。どちらかが、感染している場合は、別々に飼養して下さい。

☑ 相性も大丈夫そう!迎え入れるには、何に気をつける?

餌を与える時は、先住猫から複数飼いのトイレは「猫の数プラス1」を用意!複数飼っている方からは「迎え入れて良かった」「楽しい!」というご意見が多く寄せられますが、楽しいだけではなく大変なこともあるということを理解した上で迎え入れて下さい。



2匹飼いてもトイレは3つ!

3. 新しい家族を待つちょっと成長した猫たち

①センターでの呼び名 ②色・性別 ③ウイルス検査結果(※) ④アピールポイント

※猫白血病ウイルスと猫免疫不全ウイルスの検査を実施しています。猫の伝染病は、ネコ同士によく見られる行動(舐め合う・ケンカする等)で感染してしまいます。しっぽの森では、概ね6か月以上の猫についてはウイルス検査を行っていますが、子猫については、母子免疫の関係で正しい検査結果が見込めないことから、検査を行っていません。先住猫がいる場合は、ウイルス検査を行い、陰性であることが確認できてから一緒に遊ばせるようにして下さい。



- ①かもめ
- ②サビ ♀(不妊措置済)
- ③陰性
- ④きれいなサビ色です。他の猫とも仲良くできる、良きお姉さん猫ですが、実は、年上の猫とも仲良くできる、マルチの才能を持っています。



- ①こまち
- ②黒 ♀(不妊措置済)
- ③陰性
- ④落ち着いた性格をしています。いつも1人でのんびり他の猫を見守りながら過ごしています。とてもきれいな毛並みで、黒光りしています。



- ①ミク
- ②三毛 ♀(不妊措置済)
- ③陰性
- ④くつきりとした色合いの三毛猫です。センターに来た時は、かなり痩せていましたが、しっかりご飯を食べてふっくらしました。



- ①かえで
- ②キジトラ ♂(去勢措置済)
- ③陰性
- ④とても性格の良い男の子で、他の猫とも仲良くできます。両目とも少し白濁していますが、ちゃんと見えていて、普通の生活に支障はありません。



4. 譲渡ボランティア活動報告

このコーナーでは、譲渡ボランティアの活動を紹介します。今回は、「NPO法人保護猫ハウスそら」さんにお話を伺いました。

活動を始めたきっかけは?

20年程前に2匹の捨てられていた子猫を保護したのが、猫と携わるきっかけでした。1匹は新しい家族のもとへ。もう1匹はそのまうちの子に。その猫の名前がボランティア名にもなっている「そら」です。家族で大切に飼ひ、18歳で亡くなるまでの間に私達家族にたくさんの思い出を残してくれました。

普段はどのような活動を行っていますか?

様々な事情で飼えなくなった飼い主さんから直接持ち込まれる猫や、多頭飼育現場からの猫を、できる限り保護してきました。また、譲渡会を月2回(土・日)程度行ったり、SNSサイト(ジモティー)を活用しながら、保護猫たちに新しい飼い主をさがす為の譲渡活動も行ってきました。地道な活動が実を結び、今では、NPO法人として活動しています。

何かメッセージは?

同じような保護猫をつくらないためにも不妊去勢手術は必ず行ってください。また、猫は外で飼うのではなく必ず家の中で飼ってください。



譲渡会の情報は、四国新聞パネットに掲載しています!



譲渡ボランティアって?

しっぽの森から犬・猫を譲り受け、人なれや、健康管理を行って新しい家族探しを手伝ってくださっている人たちです。「譲渡ボランティアをやりたい」、「自分の家庭環境や住宅で、譲渡ボランティア活動ができるだろうか?」など、気になることがある方は、是非一度しっぽの森までお問い合わせください。

5. 新しい家族を迎えて ~しっぽの森から譲渡した犬や猫たち~

「飼いたい犬・猫」と「飼える犬・猫」は異なります。だからこそ、センターからの譲渡を希望される方々には、じっくりと考えた上で、新しい家族を迎え入れていただきたいと思っています。今回は、センターから新しい家族(ランちゃん)を迎え入れたT様に、迎え入れるまでのお気持ち等を聞かせていただきました。

セ: さぬき動物愛護センター~しっぽの森~から犬の譲渡を受けようと思ったきっかけを教えてください。

T: 10年間、共に生活していた2代目の「ランちゃん」が病気で亡くなり、私のショックと悲しみが止まらないまま毎日进行してしまっていました。主人には、ペットショップとか犬のいるいろいろな所に連れて行ってもらっていたのですが、娘から「香川県に『しっぽの森』って所があるみたいよ!」と聞き、譲渡前講習の申込みをして、譲渡会にも、参加することにしました。

セ: 最初にマッチングした子犬は臆病だったので、お迎えまで何度も足を運んでいただきましたよね。

T: 私は、幼少の頃から動物が好きで、ずっと犬を育てていました。当然、人馴れていない犬もいて、そんな犬たちは、時間が経っても臆病なところはなかなか直らないことはわかっていました。それでも、少しでも私たちに懐いてくれたらいいなって思って何度も会いに行っていました。この子は、愛情のかけかたでぜんぜんいい子犬になると感じていましたが、一方で、ずーっと家の中で寄り添ってやらないとダメかもしれない!そう思い始めました。私達は、毎日が徳島と香川とを行ったり来たりで、一人にしてしまう時間が多く、一緒にいる時間がどうしても少なくなります。この子のためにも、私達が引き取ることはあきらめました。

セ: 次にマッチングした子犬と出会われた時の印象をお聞かせください。

T: 一目で「顔がかわいい」と感じ、「おいで」って声をかけると私の方に来てくれました。その時、「この子なら私がちゃんと育てていける!」と感じました。第一印象で私と目が合い、私達の家族として迎え入れた3代目の「ランちゃん」は、今はとてもやんちゃ娘でみんなを困らせています(笑)

